

まとめ（視覚障がいリードユーザ参加グループ）

（解決したい課題）

ハード	ソフト	情報（ホームページ）
案内表示の分かりやすさ	案内所等で言葉で表現し慣れていない	情報発信
ドアが開けにくい（固い）（重い）	魅力が半減	案内はもう一步当事者目線で大きく変えられる
バス停降りて全体表示案内	休憩所せめて水分補給はさせて欲しい	3丁目→文化公園「事前に言ってくれば・・・」と言われた。せめてHPやバス停に案内
メディキットバスを降りてスロープなど経路矢印	宮崎の方の柔らかな話し方が聞いていて心地良いです。	施設の色とコントラスト
ボタンの高さ		館内のトイレの表示をわかりやすくすべし
階段の溝		情報過多
道路の段差		入口・出口サイン
施設の導線		統一した名前・サイン
デザインがバリアになる（必要な物）		人の導線の方向
予算化		情報の書き方
車椅子にとって進みやすい床になっているか		作ったことで満足することなく、時間が経過するに従い「劣化」「変化」することを認識し、新たな対応に迫られる
自販機のボタンの位置が高すぎる→押せる工夫が必要		理由は限定しておらず常に新しき対応が求められている！常に気づきの念を！
施設の名称		
点字ブロック		
横断歩道		
自動ドア		

まとめ（視覚障がいリードユーザ参加グループ）

（アイデア出し：ハード）

選んだ課題	すぐに出来ること	長期的なこと
公共交通のみでの移動がしづらい。電車→バスへの乗り換えで待ち時間が長い 移動の確保	空港や駅、バス停にタクシーの電話番号を設ける	駅のEVの設置
	人力車	低床バスの増車
	地元ボランティアで送ってもらう	駅のバリアフリー
	宮交への働きかけ。現状を伝える。	電車・バスの増便
	各社の窓口がわかるページをHPに	車椅子で乗れるバスを増やす
	ノンステップバスの予約の一本化	バスの増便
	白タク	路線バスの新設
多目的トイレの鏡の改善 多機能トイレ メディキットのトイレ。洗い場がオストメイト用しかない	自治体保有やホテル・旅館の送迎バスを利用（単縦路線のみ）	選択できる交通手段を提示
	路線回数、コースの拡大	駅から徒歩圏内にしか公共施設を作らない
	カーシェアリング	
	ボランティア自家用車の運用	
	サインを増設	基準作成後に該当施設に指導する
	基本課題の基準を作成	有料化。サービス向上
	死角にならないよう工夫する	サインの位置を見直す
劣化 通路コントラスト	表示（どこにあるか）を工夫する。目線の高さ。サインを利用。点字、音声ガイダンス	宮崎県のトイレ基準の作成
	バックの置き場所	行政が改善に対して補助金を出す
	多目的トイレ内にカーテンをつける	トイレの中や周辺の階段をなくす
	トイレの案内の統一	各館。洋式（ウォシュレット）を設置する
	ネット検索に引っかけないように登録する	
	表示場所の検討・確認（高さなど）実際の目線での。	
	掃除	補助金利用
劣化 通路コントラスト	保有施設に対して一斉点検を行う	デザインを損なわないバリアフリー設備づくり
	全体を見る意識づけ	当事者によるモニタリング
	定期的メンテナンス	外部団体による（？）定期点検と改善したかのフォローの確立
	定期的なメンテナンスを計画する	予算の確保（多くの声を出す）
	シルバー人材の活用	劣化しない素材の開発
	目安箱や意見箱へ投書	改善できなければペナルティーをかける
	手洗い所に杖や荷物を置ける場を作る	施設自体が補強に関する予算の確保をする制度づくり
	手直しペンキ	
	情報の時点修正	
	やわらかいイメージでパステル調が多用し過ぎ	
外にある案内板の掃除		
行政でチェック体制を制度化を図る		

まとめ（視覚障がいリードユーザ参加グループ）

（アイデア出し：ソフト）

選んだ課題	すぐに出来ること	長期的なこと
案内人の対応	表現の多様性	見える化基準を設置し改善を図る
インフォメーションの説明。突き当たり左？	サインの増設	手話通訳が出来る
インフォメーションの方法、説明の仕方	おしゃれな案内より、わかりやすい案内を利用者に伝わりやすい方法を知っておく	自動案内ロボットの設置
	実際にお互い案内し合う体験をする	職員の意識改革研修（継続的な）
	相手の求める情報を提供する	どこで聴いてもそれなりの観光案内ができる対応力
	研修を受ける。設置者と案内人が	あまりにも表示が多いと見づらい。シンプルに！
	職員、スタッフの意識づけ	TDLのキャスト体験
	各障害の種類で欲しい情報の把握	参画施設等ボランティアの方へ当事者体験をする場を設ける。先を見る気づきの心セミナー
	笑顔	当事者を加えた研修
	意識改革につながる、情報収集。リードユーザの声のテレビ、本へアンテナ	
	情報の一元化	
	目的までのインフォメーションと連携を図る	
	あいさつ	
乗れないのに切符販売	案内人にバスの情報を正確に伝える	グーグル検索で道案内を始めたら、電子マネーでの一元交通で荷物も移動前に登録して事前申請できるようにする。
バスに乗れるかどうかの案内（声かけ説明）	「切符を売る」「入口から入れる」等係りの仕事が縦割り	自分の行きたい所はどのバスに乗るのかわかりにくい
	お客さん同士の協力	バスの改善。または、新型バス（車椅子対応）の導入
	運転手同者が無線でノンステップバスの稼働状況を確認する	ノンステップバス、リフト付き等使いやすい車にしていく
	1つの窓口で乗れるバス、時間、行きと帰りが教えてもらう	大きな荷物置き場等のスペースを車内に作る
	バス停案内所での一言。大きなキャリーケース、ベビーカー、車椅子ではバスに乗れません→別の移動手段の案内。JR等	バス情報のオープンデータ化
	移動させる目的が参加者に案内しておく	スタッフ教育の充実、人材増員
	現場を担当する人を接客マニュアルで教育をする。（教育内容を事前に必ずチェックした上で）	実体験、苦勞を知ってもらう
	案内係に対するマニュアル利用の徹底（案内すべきこと）	バス構造（施設、設備）の改革、製造
	お客様への案内と利用できない時は、問合せ先、解決法の明示化	

まとめ（視覚障がいリードユーザ参加グループ）

意識改革	行政指導	子供の教育
	当事者体験	弱者体験をできるようにする
	消費者目線	学校教育の過程に組み入れる
	合同合宿	TV番組企画
	職場や仕事全体に興味を持つ	多様な人たちとの交流
	不便だけど我慢すればいいかを攻める	幼少期から教育カリキュラム。実践に基づく
	周辺にあるものを風景にせず興味を持ってみる	日常で当たり前
	ボランティア活動への参加をしてみる	「違う人がいる」という自分の常識の外の人がいることを知る
美術館の楽しみ方	障害者は怖くない	新しい発想。距離を近づける
	レギュレーション少ない物の展示	触れる展示
	写真が撮れる	キャプションのフォントやサイズまでこだわる
	先進的事例の美術館の模倣	リードユーザからのアドバイスの活用
	音声ガイド	宮崎の文化はここで知る
	おしゃべりしたり会話ができるといいな	古民家活用
	障害者対応の案内ルートを作る	他館、他国の成功例を共有するシステム構築
	美術館（街中なども）の楽しみ方講座の開設	多様な美術館（館内、館外）を設置
	五感で楽しむコーナー	個展をする。企業、個人持ち回りでも何を展示してもOK
	順路のストーリー作り お茶を飲みながらの鑑賞	
案内板の色	美しさも大切だが、見やすさを意識して欲しい	県内のピクトグラムの一統
案内板の文字の大きさ	製造会社に基準を通知し遵守させる	ユニバーサルフォントの導入
表示ピクトサイン（分かりやすさ）	子供たちがピクトグラムを考える	業界を指導。法律化を図る
案内板の高さ・位置	コントラストのはっきりした色に変える	点字案内や触れる図を目で見ても分かるように
車椅子目線で看板表示が見づらい	案内板のメンテナンス。掃除	電光警視板作成会社へ見やすい表示へ
	看板屋さんに勉強してもらおう。文書案内	福祉のまちづくり条例
		案内板の総点検
		障害者に気を配る
		サインの高さの一統

まとめ（視覚障がいリードユーザ参加グループ）

（アイデア出し：情報）

選んだ課題	すぐに出ること	長期的なこと
HP上でアクセスマップが共有されると便利	カラーセルをやめる	スッキリ見やすい表示を心がける
ホームページでの情報発信	情報の分類整理	宿泊施設に関して統一した不フォーム
	写真に文字情報を入れる	リンクをやめる
	UDフォントを使用する	アクセスマップのランドマークを共用させる
	色、コントラストに気遣う	
	マップ、トイレ等を掲載する	
	誰に向けての情報か整理	
HPを見るとき、音で読む人がいることを知る		
ありのままを伝える		
ワンストップなホームページ。必要なリンクを貼る		
情報の羅列ではなく、目的を絞って表記		
更新をこまめに		
情報の一元化		
アクセス情報	空港HP上のバス時刻表が見つからない	一つの窓口で行き帰りの方法が分かる
アクセスについて地図を貼るだけでなく言葉（文字）説明が欲しい	グーグルマップとバス情報の連携	市内巡回バス（グリーンスเฟอร์）をあちこちに充実させる
グーグルマップ	バス路線をわかりやすく	時刻表に低床バスを明示
バス停のサイン	出来てない事は隠さずに表示	バス停の場所を見やすい所に
バス停を降りてすぐに周辺の位置関係、距離が分かるものが無い	選択できるコースを載せる	
バス停の情報	市内でのバス乗り換えがわからない	
	バス路線の拡充	
	運転手が情報をやり取りする	

